

平成 29 年度(2017 年度) 理事会のポイント(第1回理事会以降)

第1回 平成 29 年 6 月 25 日理事会

(主な議案)

・総会での理事承認を受けて、第 1 回理事会を開催し、代表理事(会長)として星野正史を選任しました。

第2回 平成 29 年 7 月 17 日理事会

(主な議案)

・新体制の役員・委員会構成について協議し、委員会の構成について会長案が承認されました。なお、業務執行理事の構成については、次回理事会において再度審議することとなりました。

・強化本部から、①東京 2020 に向けた選手強化の情報戦略活動に係る機材の調達、②JOC エリートアカデミー事業について審議の要請がありました。両議案については、強化本部においてその予算内で優先順位をつけて対応することが確認されました。

・強化本部から、①平成 29 年度全日本選手個人戦と男女エペグランプリ重複への対応、②ALL JAPAN チレンジカップ柳井大会について、審議の要請がありました。両議案ともに、強化本部案に沿って対応することとし、当該重複試合の対応については強化本部の判断に委ねるとともに、柳井大会についての実施を承認しました。

・平成 30 年度全日本選手権(個人戦)日程等について協議しました。協議の結果、平成 30 年度全日本選手権(個人戦)の実施時期は9月とし、同会場は駒沢オリンピック公園総合運動場体育館(以下「駒沢体育館」)とするが、決勝の場所を含め詳細を事業委員会で検討することとしました。また、本年 12 月の同大会については、最終日に決勝戦をまとめて実施するとともに、決勝戦についても駒沢体育館で実施することも合わせて承認されました。

・全日本選手権大会(個人戦)について4月開催の議案が提出されていましたが、上記議案の可決により、本議案は否決されました。

・個人戦選手選考方法の変更、全日本選手権大会(個人戦)フォーマット変更については、引き続き議論を行うこととなりました。

・2017 年の高円宮杯、全日本選手権大会の実行委員会の概要については、事業委員会で検討することとなりました。

・公印規程の改定と運用報告については、議案通りの変更が認められました。

・定款変更検討委員会・社員総会運営規程検討委員会を新たに設置するとの議案が提出されましたが、既に新たな委員会構成が承認されたことから、その委員会構成のもとで管掌することとなりました。

・各種議事録の公開とその範囲について議論し、理事会議事録の秘密保持事項について分かりやすく定義することを条件として承認されました。

- ・弁護士等による理事の業務研修を9月の理事会時に実施することを承認しました。また、8月の理事会時に、会長と齊田理事による新人理事を対象とした業務研修を実施することになりました。
- ・協会の奨励賞を①第3回全国小学生フェンシング選手権大会、②第3回全国中学生フェンシング選手権大会、③第63回全国高等学校フェンシング選手権大会において、授与することが承認されました。なお、今後の取扱いについては引き続き事業、表彰、カレンダー員会で検討することとなりました。
- ・日本フェンシング協会後援会発足について議論しました。後援会の名称は「サポーターズクラブ」とし、財務・マーケティング委員会が担当することとなりました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・重要案件に関する前理事会の対応と新理事会が引き継ぐ課題について
- ・FCA 主催試合の開催について
- ・H29 年度 第1回理事会・代議員会合同会議資料について(日本オリンピックズ協会)
- ・事務局／6月の業務報告
- ・資金繰り
- ・今後の理事会開催について

第3回 平成29年8月11日理事会

(主な議案)

- ・2017年アジアU23選手選出方法の件について、強化本部から国内ランキング上位者を候補者として旨提案があり、承認されました。尚、同日程が10月26日から31日に変更になったことも説明されました。
- ・2017-2018全日本選手権個人優勝者について、強化本部から、①派遣手続きに間に合うワールドカップ大会から優先的に出場させること、および、②ワールドカップ出場権4名の中に入れることについて提案があり、承認されました。
- ・尚、上記議案に加え、ユニバーシアード男子サーブル選手について、怪我をしたフィッツジェラルド邦彦選手に代わり清水紀宏選手を出場させる旨、追加議案が出され承認されました。
- ・第70回平成29年度全日本選手権(個人)大会要項について、全日本選手権(個人戦)会場については、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館とするが、決勝戦を各種目最終日にまとめて実施するか、従来通りのスケジュールとするかについては今月中に決定することが承認されました。
- ・全国小学生選手権大会の開催地決定基準の件について、開催地決定優先順位について承認されました。優先順位は以下の通りです。①国体開催県に翌年に依頼する。②国体開催県が属するブロックの府県に依頼する。③開催を特に希望する府県に依頼する。
- ・議事録作成の手順ならびにその手続きを定めた議事録作成要項について、提案通り承認さ

れました。

・役員選任の件について協議を行い会長案が否決されたことをうけて、星野理事は会長を辞任しました。また、これにともない、太田雄貴氏を新たな代表理事に選任しました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・FIE/FCA女性フルーレコーチ育成合宿
- ・各委員会 組織について
- ・新会館に於ける事務局について
- ・事務局/7月の業務報告
- ・資金繰り

第4回 平成 29 年 9 月 24 日理事会

(主な議案)

- ・2017年アジアベテラン選手権の結果報告がありました。さらに、2017年世界ベテラン選手権の日本選手団が承認されました。
- ・2017年全日本ベテラン選手権大会開催について2017年11月18、19日に大田区立総合体育館にて開催することが承認されました。
- ・2017年高円宮杯ワールドカップに係る海外審判員への対応について、予算が承認されました。
- ・全日本団体戦登録の方法について、来年度以降について、事業委員会において検討することが確認されました。
- ・セキュリティ重視の観点から、次回の議案配布後からは新たな協会メールアドレス以外には送らないこと、原則として協会以外のメールアドレスを使用しないことが承認されました。
- ・理事会運営をよりスムーズに行うための細則の制定が承認されました。合わせて監事から意見書が提出され、説明が行われました。
- ・緊急を要する案件について機動的に対応するための手続きが承認されました。
- ・FIE 総会出席にともなう移動宿泊費の協会負担について承認されました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・役員体制について
- ・財務マーケティング委員会委員(名簿)
- ・東京2020対策委員会委員(名簿)
- ・第29回ユニバーシアード台北大会結果
- ・海外遠征に伴う書類の一本化について
- ・第1回(男子エペ)、第2回(女子フルーレ)、第3回(男子フルーレ)Fencing Fan Engine 実施結

果について

- ・FIE シーズン2018／2019スケジュールについて
- ・FIE シーズン2018／2019 FIE スケジュール提示にともなう国内試合日程調整について
- ・FIE2017アスリート委員会委員選挙結果
- ・2020オリンピック出場基準
- ・外部問い合わせ事項
- ・太田雄貴会長より次回11月の理事会後に社員への説明会及び懇親会を実施するとの報告
- ・事務局報告

第5回 平成 29 年 11 月 19 日理事会

(主な議案)

- ・臨時社員総会の招集決定の件について審議しました。まず、太田会長より正会員より社員提案にかかる定款変更案について審議を行うため総会招集請求がなされており、総会招集の必要があることを説明しました。また、総会の招集には理事会の決議が必要であり、本理事会が請求を受けて初回の理事会であることを説明しました。審議を行った結果、定款変更には法令との整合性の確認も含め慎重な対応が必要であることから、法務委員会と定款変更委員会とで正会員と連携しながら定款変更案を検討し、理事会案として作成するために必要な期間をとることとし、全会一致をもって、社員総会は平成30年3月21日に開催することを決定しました。
- ・ユニバーシアード選手選考に関する提案について、本議案は差し戻しとし、強化本部、学連、アスリート委員会及び会長でワーキンググループを立ち上げた上で検討し、次回理事会までに提案をまとめることとなりました。
- ・2018アジア カデ サーキット開催について審議を行い、予算の手当等未確定事項の確認を待つ必要があることから、継続審議することとなりました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・2017世界ベテラン選手権大会結果
- ・アジア U23選手権結果報
- ・TOKYO2020 対策(加藤裕子スポーツマネージャー報告)
- ・TOKYO2020 対策、ボランティアについての報告及び説明
- ・全日本団体戦 役員の件
- ・前日本団体戦に係る質問事項
- ・「お問い合わせ」への対応に関する総務・広報委員会内規
- ・2019年アジア選手権大会日程
- ・事務局報告

(付記事項)

尚、本理事会の終了後、引き続き正会員をお招きし、太田会長からの経緯説明並びに所信表明、正会員との懇親が行われました。また、スポーツ法に詳しい松本泰介弁護士から『中央競技団体の「ガバナンス」』について正会員向けにお話いただき、他の競技団体の多くの事例も踏まえ、協会運営のあるべき姿についてご講演いただきました。

第6回 平成 29 年 12 月 23 日理事会

(主な議案)

- ・サウジアラビアへのコーチ派遣募集について協議し承認されました。
- ・2020東京委員会委員への協会アドレス電子メール付与について協議し、総務委員会が承認し事務局が管理することを条件に、承認されました。
- ・内部通報制度・ホットライン設置について協議し承認されました。
- ・ユニバーシアード大会選手選考に関するワーキンググループの提案について協議しました。ランキング上位 2 名を選定した後、この 2 名を除いたうえで選考会を開催し、その選考会の 1 位(および 4 名選出であれば 2 位)を追加的に選出することとしました。補欠選手についてはランキングに基づいて決定することとしました。尚、主管は引き続き学連としますが、ランキング制度の見直しについては次回理事会において検討することとしました。
- ・小学生大会の実施において不適切な対応があったことから、関係した理事に対して注意処分を行うこととしました。
- ・アンチドーピング活動に係る2018年度の予算等について議案が提出され検討しましたが、各委員会の予算案については来年 1 月末までに提出を求め、一括して取り扱うこととしました。尚、監事から、予算案には予算の満額が出ない場合のために優先度の高低を書くこと、逆に財源に剰余が出た場合に復活できるよう予備の企画も入れておくべき等の示唆がありました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・2017年全日本学生フェンシング選手権大会における応急手当の対応
- ・一部正会員による総会招集東京地裁申し立て等への対応
- ・2020東京委員会新委員
- ・高円宮杯日仏英合同事前キャンプ実施報告
- ・英語研修導入
- ・和歌山県協会から不適切な経理処理に関する報告
- ・育成委員会の組織案
- ・事務局報告

第7回 平成 30 年 2 月 25 日理事会

(主な議案)

- ・2018 年度の国内外競技事業計画(案)について承認しました。
- ・2018 年度協会予算案について承認しました。追加的に、FIE・FCA 会議への渡航費などを常務理事会費で補う事も合わせて確認しました。
- ・医学委員会の担当理事について、アンチドーピング委員会とともに、両委員会について西山勝理事を担当理事とすることが承認されました。これと合わせて、医学委員会に必要な経費を考慮し、予算案についても調整することとしました。
- ・定款・社員総会規定検討委員会から提出された定款変更案及び法務委員会の見解を受けて常務理事会において調整を行った定款変更案について、審議により調整を行い、これを承認しました。また、3月の総会において、正会員提案と理事会提案を示し審議を行う事が承認されました。
- ・倫理・懲戒規定改定及び正会員規定策定について審議しました。倫理懲戒規定改定を承認する一方、正会員規定については6月総会を目指し継続して審議することとしました。
- ・FJE(国内)ランキング制度の改定及び日本ナショナルチーム選出方法の変更について審議しました。審議の結果、FJE ランキング制度において FIE ポイントを4倍換算とすること及び日本ナショナルチーム(12名)選手選出方法を賛成多数により承認可決しました。但し、メンバー決定の時期や頻度等については継続して審議することとしました。また、世界選手権等代表選手選出方法については、今シーズンについては現行通りとし、その後の対応については継続して審議することとしました。また、2020年東京オリンピック、世界選手権、アジア選手権、アジア大会の選手選考についても、詳細についても継続して審議することとしました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・JSC パスウェイ事業担当者変更について
- ・平成30年度 FJE ランキング制度国内対象大会の変更について
- ・国体参加状況について
- ・東京 2020 加藤スポーツマネージャーからの報告
- ・東京 2020 委員会第1回会議の報告書
- ・東京 2020 新委員加入のお知らせについて
- ・サウジアラビア コーチ派遣について
- ・将来的な段位度導入について
- ・米沢市による日本フェンシング協会への後援要請について
- ・常務理事会2018年アジアジュニアカデ役員選手名簿に関する報告事項
- ・2018 世界ジュニアカデ選手権選手役員名簿
- ・JOC ナショナルコーチアカデミー受講者について
- ・平成 30 年度「JOC 国際人養成アカデミー」受講者について

・資金繰り

第8回 平成 30 年 3 月 21 日理事会

(主な議案)

- ・ビデオ判定器借用料免除大会について審議し、国体についてビデオ判定器レンタル料は免除大会とし、費用は協会負担(事業費)とすることを承認しました。また、福井国体時の審判謝金上乗せ分を全日本団体戦の経費に計上しないこととするともに、本国体の審判謝金上乗せ分の取り扱いについては今後検討することとしました。
- ・助成金における一部会計仕訳の変更について審議し、2018 年度から強化費の仕分けを助成有と助成無しの区分処理を行うこととしました。
- ・2017年に実施された全日本団体戦におけるドーピング違反について、JADAの処分決定内容について、当協会規定に従って、これを承認した上で、違反者に資格停止の制裁措置を課すことを承認しました。
- ・前議案に関連して、JADAの当該決定の公表に関する対応について審議し、JADA の決定を受けた対応、および緊急時の対応手順について承認しました。具体的には、以下のとおりです。
 - ・ JADA が個人名の公表を行ったとしても、違反者は違反当時未成年であったことから当協会では個人名の積極開示は行わない。
 - ・ JADA は違反者の競技記録の失効を課しており、違反のあった全日本団体戦については、違反者が参加したチームの記録について抹消、順位繰上げを行う。
 - ・ 想定以上の不測の事象が発生したときは、常務理事会(および関係委員会委員長)による機動的な対応を行う。
 - ・ 今回の結果を協会として真摯に受け止め、今後はアンチドーピング教育の更なる徹底を図っていく
- ・2018 年 2 月 28 日付正会員からの定款変更の提案に関する対応について審議しました。本年 3 月 21 日の総会に向け、総会議案発送の直前となる 2 月 28 日に社員定款変更案が提出され、これを総会議案として急遽受け入れたことから、当該総会のため 2 月 25 日開催理事会において承認した理事会の定款変更案に関する常務理事会が行った追加的な修正について承認しました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・WEB登録システム変更について
- ・第 4 回全国中学生大会要項(案)について
- ・2018 年 2 月理事会 3 号議案に係る 2 号議案(2018 年度予算案)修正
- ・総会に関するご報告(次回 6 月 24 日上野精養軒を予定)

- ・コストリカコーチ派遣について
- ・資金繰りについて
- ・ランキング制度の掲示について
- ・新登録システムにおける高体連の独立について
- ・2018年度公認指導員講習会について

以上